

令和3年度（第5期1年目）における 国立研究開発法人情報通信研究機構の 業務実績評価の方針（案）

本方針は、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「機構」という。）における独立行政法人通則法第35条の6に基づいて実施する、令和3年度に係る機構の業務実績評価の方針を定めるものである。

1. 基本的考え方

(1) 評価は、「独立行政法人の評価に関する指針[※]」に基づき実施する。

※ 総務大臣決定。平成26年9月2日策定 令和4年3月2日改定

(2) 評価に当たっては、「研究開発成果の最大化[※]」と「適正、効果的かつ効率的な業務運営」の両立の実現につながるよう留意する。

※ 「研究開発成果の最大化」

国民の生活、経済、文化の健全な発展その他の公益に資する研究開発成果の創出を国全体として「最大化」すること。（独立行政法人の目標の策定に関する指針Ⅲ1（2））

(3) 年度評価においては、中長期目標の着実な達成を確保する上で支障となる業務運営上の課題の的確な抽出が重要である。

2. 評価の方法等

(1) 機構の評価は、機構の自己評価結果を活用し、次の評定を行うことによる。

- ① 項目別評定：中長期目標に設定した項目を評価単位として評価
- ② 総合評定：項目別評定を基礎とし法人全体を評価

(2) 評価の手法は、次による。

- ① 自己評価書等、機構から提出された資料の確認、分析等
- ② ヒアリング等による情報収集等

(3) 評価の視点は、次に基づく。

- ① 研究開発に係る事務及び事業
 - (ア) 目標の策定時に設定した評価軸（別紙参照）を基本とする。
 - (イ) 定性的・定量的な観点の双方を勘案する。
 - (ウ) 評価指標とモニタリング指標を切り分ける。
- ② 研究開発以外の事務及び事業
 - (ア) 年度計画に対する進捗状況を基本とする。
 - (イ) 中長期目標の達成に資するものであることを勘案する。

3. 項目別評定

(1) 評定区分

各評価項目の業務実績を評価軸等に基づき評価し、5段階（S A B C D）で評定する。

【研究開発に係る事務及び事業の評定区分】

- S：特に顕著な成果の創出や将来的な特別な成果の創出の期待等が認められる。
A：顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められる。
B：成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められ、着実な業務運営がなされている。
C：より一層の工夫、改善等が期待される。
D：抜本的な見直しを含め特段の工夫、改善等が求められる。
※評価に併せ、必要に応じ、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述

【研究開発に係る事務及び事業以外の評定区分】

- S：所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。（定量的指標では計画値の120%以上で、かつ質的に顕著な成果）
A：所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。
（定量的指標では対計画値の120%以上）
B：所期の目標を達成していると認められる。
（定量的指標では対計画値の100%以上120%未満）
C：所期の目標を下回っており、改善を要する。
（定量的指標では対計画値の80%以上100%未満）
D：所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める。
（定量的指標では対計画値の80%未満）
※評価に併せ、必要に応じ、改善すべき事項、目標設定の妥当性等を記述

(2) 項目別評定の留意事項

- ✓ 評定に至った根拠、理由等をわかりやすく（特にA以上の場合）。
- ✓ 業務運営の改善に資する助言等について付言。
- ✓ 質的・量的、経済的・社会的・科学技術的、国際的・国内的、短期的・中長期的、政策的観点等から総合的に評価。
- ✓ 研究段階、研究特性、研究方法等に応じ、評価軸に関し必要に応じて重み付け。

(3) 評価項目

評価単位は次の10項目とする（太字部分。「●」は重点化対象項目。詳細は別添1参照）。

- 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項
 - 重点研究開発分野の研究開発等
 - 1. 電磁波先進技術分野
(NICT 法第 14 条第 1 項第 3 号から第 5 号までの業務を含む)
 - 2. 革新的ネットワーク分野
 - 3. サイバーセキュリティ分野
 - 4. ユニバーサルコミュニケーション分野
 - 5. フロンティアサイエンス分野
 - 分野横断的な研究開発その他の業務
 - 6. 分野横断的な研究開発その他の業務①
(Beyond 5G の推進)
 - 7. 分野横断的な研究開発その他の業務②
(Beyond 5G の推進以外)
- 業務運営の効率化に関する事項
 - 8. 業務運営の効率化に関する事項
- 財務内容の改善に関する事項
 - 9. 財務内容の改善に関する事項
- その他業務運営に関する重要事項
 - 10. その他業務運営に関する重要事項

(4) 各評価項目の担当委員等
別添 1 のとおり。

4. 総合評価

- ・項目別評価を踏まえ、総合的な視点から項目別評価の総括及び全体評価に影響を与える事象について記述（記述による全体評価）
- ・項目別評価及び記述による全体評価を総合的に勘案し、評語による評価を付す（評語による評価）

(1) 記述による全体評価

項目別評価を踏まえ、総合的な視点から、次の事項の他、評価に必要な事項を記述する。

○項目別評価の総括

- ・項目別評価のうち重要な項目の実績及び評価の概要
- ・評価に影響を与えた外部要因のうち特記すべきもの 等

○全体評価に影響を与える事象

- ・中長期計画に記載されている事項以外の特筆すべき業績 等

(2) 評語による評価

評価区分等については、「3. 項目別評価」に同じ。

5. スケジュール

別添2のとおり。なお、スケジュールは現時点での想定であり、評価の進捗等によって変更となる可能性がある。

国立研究開発法人情報通信研究機構の評価軸等

項目	評価軸	指標
<p>1. 重点研究開発分野の研究開発等</p> <p>(1) 電磁波先進技術分野 (2) 革新的ネットワーク分野 (3) サイバーセキュリティ分野 (4) ユニバーサルコミュニケーション分野 (5) フロンティアサイエンス分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 研究開発等の取組・成果の科学的意義（独創性、革新性、先導性、発展性等）が十分に大きなものであるか。 • 研究開発等の取組・成果が社会課題・政策課題の解決につながるものであり、または、それらが社会的価値の創出に十分に貢献するものであるか。 • 研究開発等の成果を社会実装につなげる取組（技術シーズを実用化・事業化に導く等）が十分であるか。 • 取組が ICT 人材の需要に対応できるものとして適切に実施されたか。（「サイバーセキュリティに関する演習」及び「サイバーセキュリティ産学官連携拠点形成」の評価時に使用） • 取組が我が国全体のサイバーセキュリティ対応能力強化に貢献するものとして計画に従って着実に実施されたか。（(3) サイバーセキュリティ分野にのみ使用） 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 具体的な研究開発成果 • 研究開発成果の移転及び利用の状況 • 共同研究や産学官連携の状況 • データベース等の研究開発成果の公表状況 • （個別の研究開発課題における）標準や国内制度の成立寄与状況 • IoT 機器調査に関する業務の実施状況（「パスワード設定等に不備のある IoT 機器の調査」の評価時に使用） <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 査読付き論文数 • 招待講演数 • 論文の合計被引用数 • 研究開発成果の移転及び利用に向けた活動件数（実施許諾件数等） • 報道発表や展示会出展等の取組件数 • 共同研究件数 • （個別の研究開発課題における）標準化や国内制度化の寄与件数 • 演習の実施回数又は参加人数（「サイバーセキュリティに関する演習」の評価時に使用） • 構築した基盤環境の外部による利用回数、もしくは利用者数（「サイバーセキュリティ産学官連携拠点形成」の評価時に使用） • 民間企業が開発した人材育成コンテンツ数（「サイバーセキュリティ産学官連携拠点形成」の評価時に使用） • 調査した IoT 機器数（「パスワード設定等に不備のある IoT 機器の調査」の評価時に使用）

項目	評価軸	指標
2. 分野横断的な研究開発その他の業務		
(1) Beyond 5G の推進	<ul style="list-style-type: none"> • Beyond 5G の実現に向けた取組の強化につながっているか。 • 公募型研究開発プログラムを適切に実施したか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Beyond 5Gの実現に向けた産学官連携等の活動状況 • 公募型研究開発プログラムに係る研究開発マネジメントの取組状況（進捗管理等の活動状況、評価委員会の設置・活動状況等） • 公募型研究開発プログラムの応募・採択状況 • Beyond 5Gの推進 <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準化や国内制度化の寄与件数
(2) オープンイノベーション創出に向けた産学官連携等の強化	<ul style="list-style-type: none"> • 取組がオープンイノベーション創出につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 共同研究や産学官連携等の活動状況 • 研究支援人材の確保及び資質向上等の取組状況 • 社会実装に向けた取組の状況 • NICT の技術シーズを活用したベンチャーの創出・育成のための支援の取組状況
(3) 戦略的・機動的な研究開発ハブの形成によるオープンイノベーションの創出	<ul style="list-style-type: none"> • Beyond 5G の実現に向けた取組の強化につながっているか。 • Beyond 5G の実現やハイレベルな研究開発を行うためのテストベッドが構築され、テストベッドが有益な技術実証・社会実証につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Beyond 5G の実現等に向けたテストベッドの構築状況 <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • NICT 内外によるテストベッドの利用件数
(4) 知的財産の積極的な取得と活用	<ul style="list-style-type: none"> • 取組が研究開発成果の利用につながっているか。 • 知的財産の活用に係る専門人材の確保・育成に取り組んでいるか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 知的財産の取得と活用に関する活動状況 • 知的財産の活用に係る専門人材の確保及び育成の取組状況 <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特許出願件数 • 知的財産の実施許諾契約件数

項目	評価軸	指標
(5) 戦略的な標準化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 取組が標準化につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準や国内制度の成立寄与状況 <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準化や国内制度化の寄与件数
(6) 研究開発成果の国際展開の強化	<ul style="list-style-type: none"> 取組が研究開発成果の国際展開につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連携・国際展開の活動状況（評価指標）
(7) 国土強靱化に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 取組が耐災害 ICT 分野等の産学官連携につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携等の活動状況
(8) 戦略的 ICT 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 取組が ICT 人材の需要に対応できるものとして適切に実施されたか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成プログラムの取組実績 産学官連携による ICT 人材の育成実績
(9) 研究支援業務・事業振興業務等	<ul style="list-style-type: none"> 取組が国際的な研究交流の促進や情報通信サービスの創出につながっているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究交流の取組状況 情報通信ベンチャー企業に対する支援の取組状況
3. NICT 法第 14 条第 1 項第 3 号から第 5 号までの業務		
機構法第 14 条第 1 項第 3 号から第 5 号までの業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務が継続的かつ安定的に実施されているか。 	<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各業務の実施結果としての利用状況 <p>【モニタリング指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各業務の実施状況

国立研究開発法人情報通信研究機構の業務実績評価に係る評価項目詳細、担当委員等（案）

□ 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項

○ 重点研究開発分野の研究開発等	担当	日時
1. 電磁波先進技術分野 1.1 リモートセンシング技術 1.2 宇宙環境計測技術 1.3 電磁環境計測技術 1.4 時空標準技術 1.5 デジタル光学基盤技術 1.6 NICT 法第 14 条第 1 項第 3 号から第 5 号までの業務	牛尾専門委員 前原専門委員 村瀬専門委員	6 月 13 日(月) 10:30-12:00
2. 革新的ネットワーク分野 2.1 計算機能複合型ネットワーク技術、フォトニックネットワーク技術、光・電波融合アクセス技術 2.2 次世代ワイヤレス技術 2.3 宇宙通信基盤技術 2.4 テラヘルツ波 ICT プラットフォーム技術 2.5 レジリエント ICT 基盤技術	牛尾専門委員 前原専門委員 村瀬専門委員 森井専門委員	6 月 9 日(木) 14:00-15:30
3. サイバーセキュリティ分野 3.1 サイバーセキュリティ技術 3.2 暗号技術 3.3 サイバーセキュリティに関する演習 3.4 サイバーセキュリティ産学官連携拠点形成 3.5 パスワード設定等に不備のある IoT 機器の調査	大場委員 橋本専門委員 村瀬専門委員 森井専門委員	6 月 13 日(月) 13:00-14:30
4. ユニバーサルコミュニケーション分野 4.1 多言語コミュニケーション技術 4.2 社会知コミュニケーション技術 4.3 スマートデータ利活用基盤技術	大場委員 大森専門委員 橋本専門委員	6 月 6 日(月) 13:00-14:30
5. フロンティアサイエンス分野 5.1 フロンティア ICT 基盤技術 5.2 先端 ICT デバイス基盤技術 5.3 量子情報通信基盤技術 5.4 脳情報通信技術	尾辻委員 大森専門委員 村瀬専門委員	6 月 6 日(月) 14:40-16:10

2 分野横断的な研究開発その他の業務	担当	日時
6. 分野横断的な研究開発その他の業務①		
6.1 Beyond 5G の推進	尾家委員	7月4日(月)
7. 分野横断的な研究開発その他の業務②	大場委員	10:00-11:30
7.1 オープンイノベーション創出に向けた産学官連携等の強化	牛尾専門委員	(休憩)
7.2 戦略的・機動的な研究開発ハブの形成によるオープンイノベーションの創出	大森専門委員	13:00-14:30
7.3 知的財産の積極的な取得と活用	小野専門委員	
7.4 戦略的な標準化活動の推進	前原専門委員	
7.5 研究開発成果の国際展開の強化	村瀬専門委員	
7.6 国土強靱化に向けた取組の推進		
7.7 戦略的 ICT 人材育成		
7.8 研究支援業務・事業振興業務等		

業務運営の効率化に関する事項

8. 業務運営の効率化に関する事項		
8.1 機動的・弾力的な資源配分	尾家委員	7月5日(火)
8.2 調達等の合理化	小野専門委員	16:00-16:50
8.3 テレワーク等による働き方改革及び業務の電子化の促進		
8.4 業務の効率化		
8.5 組織体制の見直し		

財務内容の改善に関する事項

9. 財務内容の改善に関する事項		
9.1 一般勘定	尾家委員	7月5日(火)
9.2 自己収入等の拡大	小野専門委員	14:00-14:50
9.3 基盤技術研究促進勘定	若林専門委員	
9.4 債務保証勘定		
9.5 出資勘定		

その他業務運営に関する重要事項

10. その他業務運営に関する重要事項		
10.1 人事制度の強化	尾家委員	7月5日(火)
10.2 研究開発成果の積極的な情報発信	小野専門委員	15:00-15:50
10.3 情報セキュリティ対策の推進	若林専門委員	
10.4 コンプライアンスの確保		
10.5 内部統制に係る体制の整備		
10.6 情報公開の推進等		

(参考) 記入例

評価軸・指標に沿った評価（５段階）	研究開発等の取組・成果の科学的意義（独創性、革新性、先導性、発展性等）は十分に大きなものであるか。	研究開発等の取組・成果が社会課題・政策課題の解決につながるものであり、または、それらが社会的価値の創出に十分に貢献するものであるか。	研究開発等の成果を社会実装につなげる取組（技術シーズを実用化・事業化に導く等）が十分であるか。
	4	5	2
機構の自己評価に対する意見	<p><年度計画の達成度合は十分か>（その実績に至った外部要因やマネジメントの影響・課題） ほぼ計画通りの進捗と思われる。コロナ禍で〇〇には遅れが出たものの、代わりに〇〇を取り入れることで〇〇について成果を上げている。</p> <p><成果の社会実装への取組（又はその準備）がなされているか> まだ初年度であり、社会実装への具体的な取組は見られないが、他方で〇〇連携会議を起ち上げ、産学官の連携を形にしている。 また、今回の成果である〇〇は将来的に〇〇の実現に不可欠な技術であることから、その成功は大きな意味を持つものと思われる。ただしもう少し論文の寄与数が求められる。</p> <p><費用分担や人材配置は適切か>（投入資源と成果との対比、過去の課題の克服度） 少ない予算の中でこれだけの成果を上げているのは素晴らしいと評価。ただし、研究者に比して事務を担当する人材が少なく、寄稿数などに影響を及ぼしている傾向がある。</p> <p><機構の自己評価は妥当なものか。またその評価分析は妥当なものか> 機構の自己評価（A）は妥当なものと思われる。ただし〇〇は素晴らしい成果であり、もう少し自己評価が高くても良いと考える。また、〇〇はコロナ禍における〇〇のためとの説明であったが、実施回数を増やすなどしてサンプルを増やすことは可能だったのではないかと。</p> <p>（以下、評価が「A」以上の場合） ■根拠となる事実・取組・成果（必須） 〇〇に関して、目標値を遙かに超える〇〇を達成したこと、また評価指標である〇〇に関する特許取得の数と、〇〇の共同研究数は、1年間の成果としては飛び抜けて素晴らしいと評価できる。</p> <p><input type="checkbox"/>上記の事実等のNICTの目標・使命への寄与状況（政府の政策実現、法人の目的達成や業務の質の向上への寄与度）（あれば） 〇〇の実施は機構の中長期目標である〇〇の実現に寄与するものと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/>上記の事実等の一般社会へのインパクト（あれば） 〇〇は〇〇を加速させるもので、今後実施予定の〇〇と併せることで、〇〇の実現が可能となる。このことは、〇〇しなければならない人々にとっては大変有益なものと思われる。</p>		
研究成果の最大化のためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> もう少し、〇〇と〇〇の連携を意識してみてもどうだろうか。また、〇〇に関しては産学との協力が不可欠だと思われる。 		
中長期目標達成の障害となりそうな懸念点	<ul style="list-style-type: none"> 特にないが、強いていえば〇〇の進捗が遅れていることが心配される。 		
長期的マネジメント、業務運営上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業が十分整理され、先進的な試みの導入やメリハリをつけた業務が実施されている。特段の課題は見当たらない。 		
その他のご意見	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価書の〇〇の説明は、もう少し一般にもわかりやすくなるよう、〇〇のグラフなどを付けてもいいかもしれない。 		

令和 4 年度総務省国立研究開発法人審議会
及び情報通信研究機構部会の開催スケジュール（案）

- 5月9日（月）13:00～15:00 情報通信研究機構部会（第 36 回）
 - ・ 本年度の進め方（評価方針（案）、スケジュール等）について
 - ・ 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の令和 3 年度業務実績について

- 6月6日（月）13:00～16:10 項目別ヒアリング（No. 4, 5）
 - 13:00～ No. 4（ユニバーサルコミュニケーション分野）
 - 14:40～ No. 5（フロンティアサイエンス分野）
- 6月9日（木）14:00～15:30 項目別ヒアリング（No. 2）
 - 14:00～ No. 2（革新的ネットワーク技術）
- 6月13日（月）10:30～14:30 項目別ヒアリング（No. 1, 3）
 - 10:30～ No. 1（電磁波先進技術分野）
 - 13:00～ No. 3（サイバーセキュリティ分野）
- 7月4日（月）10:00～14:30 項目別ヒアリング（No. 6, 7）
 - 10:00～ No. 6（Beyond 5G の推進）
 - 13:00～ No. 7（分野横断的な研究開発その他の業務（No. 6 以外））
- 7月5日（火）14:00～17:00 項目別ヒアリング（No. 8, 9, 10）
 - 14:00～ No. 9（財務内容の改善に関する事項）
 - 15:00～ No. 10（その他業務運営に関する重要事項）
 - 16:00～ No. 8（業務運営の効率化に関する事項）

- 7月14日（木）17:00～19:00 情報通信研究機構部会（第 37 回）

- 7月22日（金）18:00～19:00 情報通信研究機構部会（第 38 回）

- ・ 令和 3 年度における業務実績評価（案）に係る意見聴取

- 8月5日（金）17:00～19:00 総務省国立研究開発法人審議会（第 15 回）

【NICT】

- ・ 令和 3 年度における業務実績評価（案）に係る意見聴取

【JAXA】

- ・ 令和 3 年度における業務実績評価（案）に係る意見聴取

（8月8日（月）15:00～17:00（総務省国立研究開発法人審議会の予備日））